

大阪府立健康科学センター一年報

平成 21 年度

大阪府立健康科学センター

Osaka Medical Center for
Health Science and Promotion

目次

はじめに	1
これまでの歩み	2
第1章 健康科学センターの概要	6
第1節 設置目的	6
第2節 沿革	6
第3節 施設の概要	7
第4節 組織及び職員配置の概要	10
第2章 健康度測定コース、健康開発ドックコース	11
第1節 健康度測定コース	11
第2節 健康処方	12
第3節 特定保健指導	13
第4節 精密検査	16
第5節 健康開発ドックコース	17
第6節 禁煙治療コースおよび禁煙サポートコース	19
第7節 脂質の精度管理と標準化	20
第3章 運動施設	21
第4章 普及、啓発活動	21
第1節 健康情報発信事業	21
(1) 展示施設、イベント等による活動	21
(2) ホームページ	23
(3) ニュースレター	24
(4) マスメディア等を通じた広報	24
第2節 指導者養成事業	25
第3節 地域への展開	27
第4節 「健康おおさか21」及びその関連事業の推進	32
第5節 森之宮健康ゾーンの活動	33
第5章 大阪府立健康科学センター調査研究の概要	34
第1節 調査研究から府下展開への流れ	34
第2節 調査研究の意義と成果	37
第6章 調査・研究成果	40
<地域・職域の実態把握、モニタリング>	
第1節 都市部男性勤務者の32年間の身体所見の推移 －1977～2008年の定期健康診断成績の検討－	40

第2節	大阪の職域・住民における糖尿病と糖尿病網膜症の有病率の推移についての検討	44
第3節	都市部勤労者の業種別にみたストレス・うつ症状の実態と背景要因	46
第4節	心身リフレッシュコース（ストレス・ドック）にみる教員の特徴	48
第5節	大阪府民の生活習慣の実態 ～国民健康・栄養調査結果から～	49
	＜危険因子・生活習慣＞	
第6節	脳卒中危険因子としての慢性腎臓病及び高血圧についての検討	52
第7節	大阪職域・住民における高感度CRP値とメタボリックシンドロームの関連について	53
第8節	大阪府民の血圧レベルに関連する食事因子の検討	55
第9節	菓子および飲料のエネルギー比率と循環器疾患危険因子との関連	57
第10節	生活習慣が睡眠障害に及ぼす影響について	59
	＜詳細な健康度測定・検査技法の開発＞	
第11節	肥満、危険因子の保有状況別にみた動脈硬化所見の差異—眼底と脈波伝播速度—	61
第12節	肥満、危険因子の保有状況別にみた動脈硬化所見の差異—頸動脈硬化—	63
第13節	ドック受診者の頸動脈の動脈硬化度進行に及ぼす因子の検討	65
第14節	バイオフィードバックを用いたリラクゼーショントレーニングの客観的評価に関する研究	67
第15節	複数回受診者の内臓脂肪面積の変化について	69
第16節	DXA法による全身脂肪率と生体インピーダンス法による体脂肪率の関連について	71
	＜保健指導の技法開発＞	
第17節	大阪府立健康科学センターにおける特定保健指導の効果	73
第18節	大阪府立健康科学センターにおける特定保健指導の取組み	
	第1報 ITを活用した支援	76
	第2報 面接による支援	77
	第3報 検査を入れた支援	79
	第4報 成功事例の検討	81
第19節	肥満の有無による、ライフスタイル改善プランの動脈硬化危険因子に対する効果の差異	84
第20節	たばこ規制・対策の環境変化に伴う喫煙者の態度、行動の変化	85
	＜地域対策＞	
第21節	特定健診導入期の地域における循環器疾患予防対策の展開	86
	＜行政施策＞	
第22節	脳血管疾患等のパーキンソン病医療受給者への混入の可能性について	88
	＜血液脂質精度管理＞	
第23節	国民健康・栄養調査における検体検査装置と試薬の更新に伴う検討成績	90
第7章	研究成果の公表	94
	第1節 研究論文	94
	第2節 書籍	98
	第3節 学会発表	100
	第4節 学術講演	108
	第5節 研究班活動	112
	（資料）2009年度 健康度測定コース受診者 基本統計	114

平成21年度 大阪府立健康科学センター年報

発行：平成22年12月

編集・発行責任者 大阪府立健康科学センター
所長 石川善紀

〒537-0025

大阪市東成区中道1-3-2

TEL: 06-6973-3535

FAX: 06-6973-3574

ホームページアドレス <http://www.kenkoukagaku.jp>